

HUMAN RIGHTS

‘アイ’ でやるタイム（人権総合学習）

～自分探しの旅～

高槻市立第四中学校

今、子どもたちをみた時、自ら学んでいこうとする力や、学ぶ意欲が弱い子どもたちの姿を目にすることがよくあります。元来、学びというものは、今生きている社会とつながり、職業観、結婚観そして子育てなどにも関わって、自らの生活や将来像と結びついたものであるはずで。つまり、子どもたちにとって、今の学習が社会とつながっていることや、学校で学んでいることが自分の生活や将来像と結びついて考えられるということが、とても大事です。そして、私たちは、教科学習はもちろんのこと、総合的な学習の時間でも、そして日々の教育活動でもそのことを意識し、子どもたちの学ぶ意欲につながるよう取り組みを考える必要があります。

●学び方を学び、生き方を考える

昨年度より本格的に始まっている総合的な学習の時間では、「学び方を学ぶ」「生き方を考える」ということを大きな目標としています。具体的には、子どもたちが「地域の人々とのふれあいを通して、人々の生き方を学ぶこと」や「多様な学びのスタイルを知り、学びの楽しさや喜びを体得すること」、「自ら課題を設定し、自ら考え、行動し、その結果をまとめて発信すること」、「さまざまな学習を通して、自分の特性や良さを知り、自分の将来に見通しをもつこと」を目指して、総合的な学習を行っています。1年生の「職業体験フィールドワーク」、2年生の「人権フィールドワーク」そして「部落問題学習」、3年生の「自分探しの旅」がその中心的な取り組みになっています。

●自分を探す旅へ

3年生での「自分探しの旅」は、昨年度からスタートしています。子どもたちに、卒業後の自分の将来の生き方をしっかり考えてほしいという強い願いから、すぐ目の前の高校だけでなくもう少し先を見通して、「大学を知ろう」というねらいで大学訪問を実施しました。フィールドワーク当日は、12コース（9大学、3専門学校）に分かれて訪問しました。子どもたちは、施設見学はもちろんで



宅配会社への訪問

すが、大学の授業も体験するなど貴重な体験をすることができました。今年度は、さらに視野を広げて、「生き方を考える」というねらいで実施しています。フィールドワーク当日は、34コースに分かれて出かけました。子どもたちは、実際にその仕事をしておられる方や専門の知識を教えておられる方を訪問し、インタビューすることができました。この取り組みを通して、子どもたちは、今の学習への意欲や将来への展望をもつことができたのではないかと考えています。

主な訪問先

関西大学 キャット・ミュージックカレッジ専門学校 藤井寺球場 高槻警察署 伊賀法律事務所 大阪医科大学附属看護専門学校 大阪モード学園 JR西日本 あぶの動物病院 アカデミー児童劇団 高槻市役所記者クラブ クロネコヤマト ESPギタークラフトアカデミー JALエクスプレス 他

●学校は夢をはぐくむ場

今、学校が、子どもたちにとって夢をはぐくむ場であり、自己実現に向け、少しでも将来の生活につながる学びの場であることが求められています。これからも、そういう学校を目指して、総合的な学習の時間を有効に活用しながら、カリキュラムをデザインしていきたいと考えています。

そうぞう

7

2004.3*No.8